

お菓子工房 lien(リアン)は、1周年を迎えました。

お菓子工房「lien(リアン)」は、社会福祉法人いたみ杉の子が運営する障害者通所事業所「ゆうゆう」が、利用者の日中活動の一環として実施しているお店です。これまで「ゆうゆう」では、事業所内でクッキーを製造していましたが、昨年度、新しい施設「メゾン杉の子」の設置にあたり、その1階に、クッキーを含めあらたなお菓子を製造し、直接販売をおこなう“お店”として「lien(リアン)」をオープンしました。



お菓子の製造販売を通して、たくさんの人とのご縁が繋がり、お客様やスタッフの笑顔に出会えました。これからも、“つながり(lian)”を大切に、皆さまに笑顔あふれる優しいお菓子を届けます。



専門学生との絆

「育成調理師専門学校」(尼崎)にはオープン前から商品開発のアドバイス、菓子製造の技術指導をはじめ、オープンイベントのお手伝いなど、講師や学生のみなさんとお菓子作りを通じた交流を続けています。

日本茶専門店「茶舗木陰」との絆

伊丹市高台にある「茶舗木陰」の抹茶を使用した「抹茶クッキー」をお店の方とともに検討し開発しました。昨年11月に開催された兵庫県主催の「第14回スイーツ甲子園」においてグランプリを受賞しました。



他にも伊丹産のはちみつを使った焼きドーナツ、老松酒造からいただいたレモンの皮を使用したレモンクッキーなど、これからも地域の素材を取り入れた、季節を感じられる商品をお届けします。皆さまのご利用お待ちしております。

contents (目次)

- P2…理事長あいさつ・事業方針
- P3…事業・決算報告
- P4・5…いたみ杉の子第5期経営計画
- P6・7…みんなHappy!! 地域より
- P8…専門職リレーコラム・インフォメーション

<表紙イメージ> お菓子工房「lien」オープン1周年。法人の新たな顔として活動しています。

「いたみ杉の子」の2022年度の決算状況がまとまりました。2022年度は、長引く新型コロナウイルス感染拡大により、一部の事業所において通所の見合わせや休業等の対応がありましたが、全体的には、当初の予定通りの事業展開をすることができ、黒字の決算を得ることができました。

2023年度がスタートしました 〈いたみ杉の子 新たなステージへ!!〉

～理事長あいさつ～

去る、2023年6月21日に開催されました定時評議員会並びに理事会において、前期に引き続き理事長を拝命しました。今後もよろしくご支援のほどお願いします。

さて「いたみ杉の子」においては、1997年の設立以来、伊丹にお住いの知的・発達障がいの方へのライフステージに応じた支援を目指し通所・入所施設の設置運営から相談や就労等への支援事業を展開し、お陰様で、現在、入所施設1カ所、通所事業所4カ所、グループホーム9カ所に加え相談支援事業や法人独自に発達支援連携室等を設置運営する職員約200名の法人となっています。しかし、一方で利用者の高齢化、重度化またニーズの多様化が進む状況においては、今後も新たなサービスや支援の取り組みが求められているところで。

ご案内のとおり、今日福祉事業の分野においては慢性的な人材不足や諸物価高騰等による事業継続に非常に難しい状況になってきています。そこで、今後、「いたみ杉の子」においては社会福祉法人としての社会的な使命を踏まえ、障害福祉分野における多様な社会資源との連携を強化し伊丹市の障害福祉の中核としての役割を果たしていきたく思っておりますので、よろしくご支援ご協力のほどお願いします。



社会福祉法人いたみ杉の子
第15期 理事長 小山 達也

〈2023年度の事業方針〉

社会福祉法人いたみ杉の子(以下、「法人」という。)は、伊丹市の知的障がいのある人の保護者組織である「伊丹市手をつなぐ育成会」を母体に伊丹市行政の協力を得て設立された法人として、今後も伊丹市の障害者福祉施策に添った事業を展開していきます。

特に2023年度は、昨年度策定した「第5期経営計画(2023～2027年度)」の初年度として、これからの伊丹市障害福祉施策における法人の役割をより明確にするとともに、他の福祉事業所との連携を深めながら障がいのある人の地域生活の包括的支援体制の構築に努めてまいります。

一方、法人の各事業所においては利用者の重度高齢化に対応すべく専門性を高めていくと同時に、ライフステージに応じた適切な支援がおこなえるよう事業者間連携を高めていきます。また、福祉事業実施の基盤でもある人材確保については多様な雇用形態の拡大をはかる他、「やりがい」のある職業として障害者支援の魅力を発信していきます。

最後に長らく続いた新型コロナウイルスについては、従来どおり感染防止を最優先にしながらも徐々に地域交流活動や社会参加の機会を拡大し、知的・発達障がいのある方の豊かな地域生活の拡大に努めてまいります。

〈社会福祉法人いたみ杉の子・役員改選〉

2023年度定時評議員会(令和5年6月21日開催)において、第15期役員(理事・監事)が承認され、同日に理事長が互選されましたので報告します。

任期:2023年定時評議員会から2025年定時評議員会まで(任期2年間)

	氏名	選出分野及び役職
理事長	小山 達也	伊丹市手をつなぐ育成会 副理事長
業務執行理事	奥田 利男	学識経験者(前伊丹市社会福祉事業団理事長)
理事	下村 直美	伊丹市手をつなぐ育成会 理事長
理事	進藤 啓	伊丹市医師会 理事
理事	行澤 睦雄	伊丹市社会福祉協議会 会長
理事	増田 平	伊丹市社会福祉事業団 理事長
理事	村山 俊宇	法人管理者 法人本部長
監事	迫田 博幸	迫田司法書士事務所 司法書士
監事	川上 貴	川上税理士事務所 税理士

〈利用者・職員の状況〉

利用者においては、生活介護事業を中心に「介護給付対象者」が増加しました。一方で利用者の高齢・重度化等により、「訓練等給付対象者」が減少しました。児童支援並びに計画相談利用者については、利用者数・相談件数ともに増やすことができました。

また、職員については、多様な手段による人材募集を進め、正規職員だけでなくパート職員も含め昨年度より32名の増員となりました。

〈利用者(延人数)の推移〉

項目	2022年度	2021年度	差異
介護給付対象者	54,024	52,800	1224
訓練等給付対象者	5,656	5,774	-118
児童支援対象者	2,079	1,899	180
計画相談対象者	934	829	105
合計	62,693	61,302	1,391

〈職員の推移〉

項目	2022年度	2021年度	差異
正規職員	65	62	3
準職員	9	9	0
パート職員	134	105	29
合計	208	176	32

2022年度の事業活動収支は、昨年度を超える8億9千万円となりました。主な収入は、福祉サービス提供による支援費報酬で収入全体の9割を越えています。その他の収入は、補助金、委託金等です。一方、支出は人件費等が職員の処遇改善等で増えている他、事務費については、「サポートセンターいたみ杉の子」の大規模改修にかかる諸費用が増えました。

〈2022年度事業活動収支〉

項目	勘定科目	2022年度	2021年度	差異
事業活動収入	就労支援事業	15,128,705	13,024,625	2,104,080
	障害福祉サービス等事業	864,441,691	816,630,061	47,811,630
	寄附金	250,000	931,865	-681,865
	利息等	138,798	316,778	-177,980
	その他の収入	14,670,024	9,405,300	5,264,724
	収入合計	894,629,218	840,308,629	54,320,589
事業活動支出	人件費	564,841,867	523,730,349	41,111,518
	事業費	88,680,005	88,596,866	83,139
	事務費	94,513,720	77,354,403	17,159,317
	就労支援事業	14,733,204	12,960,232	1,772,972
	支払利息	984,008	295,230	688,778
	その他の支出	8,809,585	8,710,436	99,149
	支出合計	772,562,389	711,647,516	60,914,873
	収支差額	122,066,829	128,661,133	-6,594,284

〈貸借対照表〉2023年3月31日現在

	2022年度	2021年度	差異	
資産の部	流動資産	413,074,166	517,057,193	-103,983,027
	固定資産	1,546,071,377	1,515,735,602	30,335,775
	資産の部合計	1,959,145,543	2,032,792,795	-73,647,252
負債の部	流動負債	87,892,555	195,032,928	-107,140,373
	固定負債	213,332,609	225,934,004	-12,601,395
	負債の部合計	301,225,164	420,966,932	-119,741,768
純資産の部	基本金	193,643,553	193,643,553	0
	国庫補助等積立金	633,390,162	661,260,471	-27,870,309
	その他の積立金	187,858,826	167,737,043	20,121,783
	次期繰越金	643,027,838	589,184,796	53,843,042
	純資産の部合計	1,657,920,379	1,611,825,863	46,094,516
	負債及び純資産の部合計	1,959,145,543	2,032,792,795	-73,647,252

〈財産目録〉2023年3月31日現在

項目	勘定科目	費目	評価額	備考
資産の部	流動資産	現金預金	413,074,166	預金額
	固定資産	基本財産	1,251,977,081	建物
		その他固定資産	294,094,296	設備・車両等
	資産合計		1,959,145,543	
負債の部	流動負債	事業未払金	34,980,990	
		借入金	14,230,000	
		リース債務	924,000	
	固定負債	預り金	5,183,758	社会保険料等
		前受金	3,080,000	助成金
		引当金	29,493,807	賞与等
		設備資金借入金	160,285,000	福祉医療機構
		リース債務	1,155,000	
		引当金	51,892,609	退職給付金
		負債合計		301,225,164
	差引純資産		1,657,920,379	

社会福祉法人いたみ杉の子 第5期経営計画概要

社会福祉法人いたみ杉の子(以下、「法人」という)では、このたび2023年度からの「第5期経営計画(マスタープラン)」を策定しました。この経営計画は、法人の中長期の運営指針を目指すもので、法人においては2008年度に第1期計画(～2013年度)を策定し、その後、社会や福祉状況の変化に対応し継続して策定してきました。今回の第5期計画においては、法人設立25周年(2022年度)と言う大きな節目を踏まえ、合わせて法人を取り巻く環境の大きな変化に対応するため2027年度までの5ケ年を期間として作成しました。

基本目標

法人設立25年を経て次のステージに向けての事業指針を定める

法人設立以来、伊丹市の障害福祉施策の中核を担うという法人としての使命を再確認するとともに障がいのある人を取り巻く社会環境の変化や障害福祉制度の変革に対応した法人の事業の方向性を示す



策定方針 ①

伊丹市の障害福祉施策における法人の役割の明確化と関係機関との連携(法人が重点的に担う分野と関係機関と連携した事業展開のあり方を示す)

策定方針 ②

法人の経営力の強化(法人の経営力を強化するための「人材」「資源」「財務」の今後のあり方を示す)

策定方針①に基づく事業指標

指標1:重度・高齢化への対応

これからの利用者の重度化や高齢化が進む状況において、法人の対応力を強化していきます。一方で、医療的ケアや介護支援が優先される状況に向け、医療機関や介護保険事業者と連携することで適切な支援ができるようにします。

指標2:障害児支援への対応

今日的に増えつつある発達障害児や自閉症児等への専門的な支援を向上させ、卒後の受け入れ態勢を整備するとともに学校や医療機関等との連携を強化し、伊丹市における障がい児童の療育支援や就労、社会参加支援を行います。

指標3:地域生活支援への対応

障がいのある人の安心した地域生活を支えるため、法人として「伊丹市地域生活支援拠点事業」の一翼を担うとともに交流事業や研修等を通して地域住民への理解を広げていきます。併せて、地域福祉を行う組織や団体等と連携して地域住民やボランティアの参加を促進していきます。

策定方針②に基づく事業指標

指標4:人材確保について

法人における人材不足を解消するため多様な雇用形態を作るとともに幅広い募集方法により人材確保に努めます。一方、現職員の離職防止対策を進めるためのモチベーションアップやメンタルケア体制とともに労働環境整備をおこないます。

指標5:施設整備、財務について

施設整備においては、今期計画では新たな施設整備等は行わないものの既存の施設・建物等については経年劣化に伴う修繕等を実施していきます。また、利用者の重度・高齢化に対応する設備改修も併せて行っていきます。一方、財務については、今後の職員の処遇改善に伴う人件費の増加に対応するため障害福祉サービス報酬の動向に応じた対応を行っていきます。

指標6:経営組織のあり方について

今後も、知的発達障害者の保護者組織である「伊丹市手をつなぐ育成会」が母体となり伊丹市の協力によって設立した社会福祉法人として、その施策と公益性を踏まえるとともに今期の経営計画で示す事業方針を効率化に進める組織体制を図っていきます。

計画策定において考慮した事項

○法人をとりまく環境の変化

- ・障がいのある人のニーズの多様化 障がいの拡大化(発達障害など)
- ・今後求められる支援
地域生活を基盤とした支援 ライフステージに応じた支援
- ・障害福祉分野における市場化 多様な事業者の参加

○法人自身がかかえる課題

- ・人材の不足
- ・専門性の強化
- ・経営力の強化



計画実現に向けた実施事項

○法人の役割の明確化

伊丹市障害福祉施策における本法人が担うべき役割の明確化

○専門性の強化

利用者の重度高齢化、今後増えつつある発達障害への対応力の強化

○調整力の強化

- ・ライフステージに応じた支援のための医療や介護等の分野との連携
- ・市内の障害福祉事業者との連携を深めるためのネットワーク力の強化

○人材確保

- ・多様な雇用による人材確保
- ・職員のモチベーションアップと離職防止のためのキャリアアップの充実



余暇のひとコマ

BBQは楽しいね
＜ホープゆう＞



実は穴場！
中庭ランチ
＜ライフゆう＞



海を見ながら
おやつを
食べた日
＜ワークゆう＞



スポセンへ出発
散歩日和
＜ライフゆう＞



荒牧バラ公園の
バラと2ショット
＜ワークゆう＞



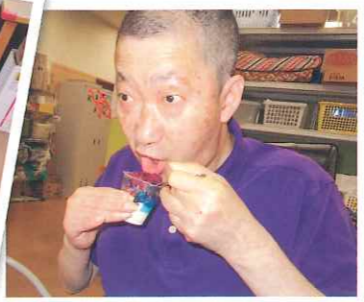
万博公園にて、
はいチーズ
＜ワークゆう＞

いたみ杉の子2023年度

家族活動日に、ご家族のみなさんが
あじさいゼリーを作ってくださいました!!



あじさいゼリーありがとう
＜ゆうゆう&フォーゆう＞



誰が一番釣れるかな
＜ホープゆう＞



藤の花完成～！
＜ゆうゆう＞



こども達のできたよ！（創作）



あおむし つくったよ！＜ツーズゆう＞

しゅわ しゅわ！レモンスカッシュ
＜ツーズゆう＞

みんなHappy!!

「いたみ杉の子」の各事業所は、昨年度（2022年度）も長引く新型コロナウイルス感染拡大による地域交流活動や余暇活動等の縮小などの影響を受け、利用者や職員においても大変な状況となりましたが、それでも、感染防止策を講じながら、できる範囲でいろいろな活動や利用者への楽しい思い出が残る事業を展開しました。

それぞれのグループや
活動であふれる笑顔を集めてみました！



相談員みんなで
研修会に参加しました。
ありがとう
ございました
＜ウイズゆう＞



みんなでスマイル＜ツーズゆう＞



京大訪問終了～
＜発達連携室＞



パワー!!＜採用プロジェクトチーム＞

日中活動のひとコマ

玉ねぎとれたよ！＜ホープゆう＞



スマイル＜ライフゆう＞

スタッフのスマイル!

「いたみ杉の子」ともに行う地域交流活動について

鴻池小学校地区自治協議会 会長 松山 豊

「鴻池小学校地区自治協議会」においては、地元にある「(福)いたみ杉の子」の協力を得ながら地域の福祉活動を実施しています。まず「鴻池地区助け合いセンター」の事務局を同法人が運営するグループホーム施設「メゾン杉の子」の地域交流スペース内に設置していただき福祉部のボランティア担当者が、地域のお困りごとの相談を月、水、金の午前中に受け付けております。また、同じく同法人の「ゆうゆう喫茶」をお借りして毎月第2と第4の土曜日13:30～16:30に「ゆうゆうスマイルカフェ」を実施しております。午後のひとときをコーヒーやクッキー（参加料150円）でお楽しみください。この交流事業は、鴻池小学校区内の共同利用施設などで「ふれあいサロン」として開催しており、お茶や昼食、ゲームなどで楽しいひとときを過ごしております。

詳しくは、お近くの民生児童委員にお尋ねください。これらの事業以外にも、「鴻池小学校自治協議会」においては、「いたみ杉の子」と協働して、いろいろな地域交流事業を実施しています。ご案内の節は、お気軽にお越しください。



ゆうゆう スマイルカフェ お待ちしています。

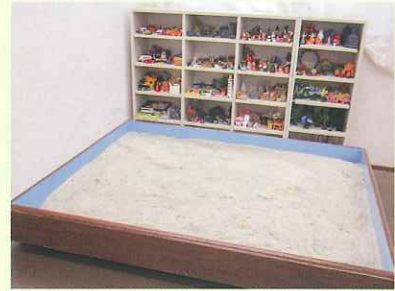
箱庭療法が実施できるようになりました!

サラサラの白い砂の箱。棚にはミニチュアの人形、動物、花、木、石、乗り物、建物、家具、食べ物、神聖な仏具や神像、闇的な物まで。利用者さんに譲って頂いた作品なども。

この棚の中から自由に選んで砂浜に置くとしたら、何を選び、また何を選びませんか?箱庭での表現を通して、その変化の過程を見ていくのが箱庭療法です。

心理では発達検査だけではなく、このようないろいろなアプローチで利用者さんのお役に立てればと思っています。年齢、性別、障害あり、なしに関わらず殆どの人に利用して頂けるので、個人のまだ眠っている可能性に少しでも光が当たるとを願っています。

臨床発達心理士・公認心理師より



i インフォメーション

研修のご案内

「いたみ杉の子 発達支援連携室」では、公開研修、学習会を開催しております。(参加費無料)

■公開研修

今日的課題をテーマに研修会を開催しております。

- ・9/8(金)17:30~19:30 講師:中村 大輔氏
「生きづらさをかかえる人たちのメンタルサポート」
- ・10/27(金)16:30~18:30 講師:田中 智子氏
実践報告会「GHでの生活を通してみる障害者の暮らし」
- ・12/1(金)17:30~19:30 講師:藤原 直子氏
「音楽を通して関係性を育む」
- ・2/2(金)17:30~19:30 講師:別府 哲氏
「子どもの内面世界をさぐる ※オンライン開催
~自閉症、強度行動障害を中心に~Part2」

■親と支援者が一緒に学ぶ学習会

障がいのある子どもに関わる支援者や保護者の方が一緒に学ぶ学習会を開催しております。

- ・11/7(火)10:00~12:00 講師:池添 素氏
「いつからでもやり直せる子育て
保護者の悩みに寄り添う支援」

<お申込み・お問合せ>

内容、氏名、所属、連絡先を添えてお問合せください。

いたみ杉の子 発達支援連携室

メール:hattatsu@itamisuginoko.or.jp

TEL:072-785-3111 FAX:072-779-3077

助成事業の報告

2022年度にご助成いただいた事業です。
ご助成ありがとうございました

- 神戸やまぶき財団(2022年度前期)
「フォーゆう」送迎用福祉車両整備
助成額 297万円



- 大塚商会ハートフル基金
「メゾン杉の子(地域交流室)
地域住民の活動拠点の整備
備品整備 助成額 30万円
(机、椅子、プロジェクター等)



- 神戸やまぶき財団(2022年度後期)
「フォーゆう」作業室トイレ改修 助成額 308万円

いたみ杉の子・メールマガジン 購読者募集(登録・購読無料)

「いたみ杉の子」では、講演会、行事等の情報を随時メールマガジンで発信しています。

購読をご希望される方は、氏名、所属、役職、メールアドレス等をメールで送信してください。申込内容によっては配信をお断りする場合があります。

※テキストデータが受診できるアドレスで申込下さい

送信先: kouenkai@itamisuginoko.or.jp

YOUねっと33号

編集・発行 社会福祉法人いたみ杉の子

デザイン・印刷 NPO法人ICCCどりー夢の印刷屋さん

〒664-0006 伊丹市鴻池1-10-15

電話/072-777-7486 FAX/072-777-7446

e-mail/honbu@itamisuginoko.or.jp